

おおむた 市議会だより

第204号

平成29年度
2月・3月議会

平成30年(2018年)5月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成25年度以降

春を告げる 臥龍梅

【主な記事】

- 新年度予算、多種多様な議論・要望、全員協議会／ぎかいの話題(2、3、13ページ)
- 三池初市／おおむた自慢(14ページ)

ぎかいの話題

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会（森竜子委員長、平嶋慶二副委員長）を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月13日から20日までの実質6日間で審

査を行いました。

庁舎整備に関すること、スクールソーシャルワーカー活用事業、防犯灯及び街路灯設置支援、快適住マイル改修事業、世界遺産関連事業に関す

ることなど多種多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果を委員長報告書にまとめ、3月26日の本会議ですべての予算議案及び条例議案を可決しました。

平成30年度各会計予算の概要（1万円未満四捨五入）

区 分		予 算 額	対前年比 当 初 比
一般会計		544億8,000万円	△0.7%
特 別 会 計	国民健康保険	144億9,368万円	△22.0%
	介護保険	134億4,317万円	1.9%
	後期高齢者医療	20億5,221万円	△3.0%
	病院事業債管理	14億4,232万円	37.2%
	水道事業	※ 1 39億8,692万円	△1.3%
	公共下水道事業	※ 2 75億3,215万円	9.6%

※ 1 収益的支出
25億 1,669万円
資本的支出
14億 7,023万円

※ 2 収益的支出
32億 9,968万円
資本的支出
42億 3,247万円

予算特別委員会の主な意見・要望

全会派及び無所属委員全員による積極的な賛同により、議会の合意形成が図られた意見要望

1 スクールソーシャルワーカー活用事業

これまでもいじめや不登校など困難を抱える子供や家庭の支援に取り組まれてきたが、国が子育て世代包括支援を妊娠期から子育てまで切れ目のない相談・支援などの体制を推奨していることから、本市において今後さらに教育委員会と保健福祉部で連携し、子育て世代包括支援センターの充実とあわせて体制強化を図られたい。

2 防犯灯及び街路灯設置支援

安心・安全なまちづくりを推進するためにも、地域の要望に応えられるよう、事業費の確保も含め柔軟な対応に、より一層努められたい。

また、負担軽減の観点から、地域における電気料等の徴収方法についても検討されたい。

その他の意見要望（抜粋）

●期日前投票所

期日前投票は増加傾向にあり、増設を検討されたい。

●庁舎の整備手法

多くの市民意見を反映したものとなるよう、さまざまな年齢層の聴取に努められたい。

●市制100周年事業

早急に全事業の補助金額、事業内容、今後への生かし方を総括し、議会へ報告されたい。

●世界遺産関連事業

保存・公開・活用する際には、スケジュールや財政状況などの情報を議会に報告されたい。

●女性のがん検診推進

受診率が低い状況にあるが、他市では検査キットを郵送し受診率が伸びていることから、配布に取り組まれたい。

●動物管理センターの整備

建設から40年経過し老朽化が進んでいることから、速やかに対策を講じられたい。

●延命動物園入口のトイレ

老朽化が進んでおり、おもてなしの観点からも改善されたい。

●快適住マイル改修事業

まちづくり・定住策としても有効であることから、事業の継続に努められたい。

●絵本ギャラリー

施設の展示内容や保管の在り方について、さまざまな意見を聴取し、基本設計に取り組まれたい。

議会からの意見・要望に対する 市長からの回答

平成29年8月に市内9会場で開催した「議会報告会」で出された意見・要望。また、その意見・要望を踏まえながら9月に「決算特別委員会」を開催。さらに、「まちづくり・活性化特別委員会」において、まちづくり総合プランに係る意見・要望をとりまとめました。

これらの意見・要望を29年11月に議会の総意として市長に提出し、回答を求めました。

次のとおり、2月19日に市長から回答がありました。

要望と回答（要約）

1. 大牟田市動物園

利便性の向上を図るため、施設の整備に取り組まれない。

また、持続可能な運営が図られるよう、収入増や経済効果が波及するような仕組みづくりとともに、動物の飼育・繁殖・展示についても計画的に推進されたい。

【回答】

男女兼用トイレについては、女性専用トイレを新設し対応したい。

また、魅力向上を図る観点から、絵本ギャラリーの整備に向け取り組みを進め、あわせて休憩室不足等の課題にも対応していきたい。

2. ほっと安心奨学金制度

取り組みが進んでいないと思われることから、他都市の状況等を調査・検討し、本市で可能な制度の構築に向け、より一層努力されたい。

【回答】

奨学金返済支援制度「おおむた100若者未来応援事業」を創設する。

3. 防犯灯・街路灯

維持管理において地域の負担が重いとの声もある。電気料金などのさらなる負担軽減に努められたい。

【回答】

ＬＥＤ化を進めており、29年度から防犯灯・街路灯の取り替えに係る補助率を50％に拡充している

また、30年度から防犯灯・街路灯設置費補助を100万円増額する予定。

4. 学童保育所・クラブ

地域資源も有効に活用しながら、待機児童の解消を図られたい。

また、29年度のアンケート調査を早急に分析・検証し、さらなる充実に向け、利用時間の延長を含め30年度予算への反映に努められたい。

【回答】

利用時間延長の課題としては、財源の確保や学童保育所支援員の労働条件の変更・人員確保であり、現在、協議・検討を進めている。

5. 保育士の確保

処遇改善を国・県に求めるとともに、労働環境の改善につながる本市独自の支援策も検討し、関係機関と連携して地元に長く勤務できる環境づくりに取り組まれない。

【回答】

国では29年度から保育所等におけるキャリアアップの仕組みの構築を支援する「技能・経験に応じた処遇改善」が実施されており、本市も国の制度を踏まえ実施することとした。

6. 病児・病後児保育事業

子どもの医療制度の拡充策として、働く保護者への支援の強化を。

また、病児保育事業についても、関係機関の理解や協力を得ながら、実施に向けて取り組まれない。

【回答】

病後児保育事業を13年度から委託し実施してきたが、29年11月から休止状態となっており、現在、医師会等に相談しながら、新たな委託先の確保に努めている。病児保育事業の実施は大変厳しい状況。

7. スクールソーシャルワーカー活用事業

課題を抱える子どもたちへの支援に大きく貢献していることから、増員配置に向け取り組まれない。

【回答】

29年度から1名増員し、体制の強化を図っている。

30年度は大学等の専門機関と連携を図り、困難な事案の対応策の調査・研究を進め充実を図りたい。

8. シティプロモーション

観光資源の活用に当たっては、より効果的な成果が得られるよう、市として総合的に統括する機能を強化、発揮しながら推進されたい。

また、本市にゆかりのある人的資源も積極的に生かされたい。

【回答】

29年に「シティプロモーション戦略・ガイドライン」を策定。

大牟田大使の拡充や内田麟太郎氏の企画展などを実施。

職員のスキルアップと総合的な底上げ、観光・人的資源も積極的に活用し、より効果的なプロモーションを進める。

9. 市庁舎整備

整備手法の検討など進められているが、適宜、情報の公表を。

また、有利な財源等の活用に即応できるよう、早急に取り組むとともに、必要に応じて、創設された国の支援事業の延長も求められたい。

【回答】

改修、建て替えなどのモデルケースを設定し、市民アンケート・附属機関の検討などを行い、整備手法等に係る対応方針を30年度内に決定したい。

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■ 平成30年度大牟田市 一般会計予算などを可決

2月・3月議会

平成29年度2月・3月議会は、2月26日に招集され、3月26日までの29日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、おおむた100若者未来応援基金条例の制定についてなどの議案41件、人権擁護委員候補者の推薦の諮問1件、意見書案の発議6件、報告3件の計51件でした。

本会議では、平成30年度予算編成の考え方、子育て支援についてなどの諸課題に13人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、新年度各会計予算や条例議案、報告の23件は、予算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議2件を除いた議案、発議をそれぞれ可決、同意、意義なき旨を答申して本会議を閉会しました。

議会日誌（1月～3月）

【1月】	9日	全員協議会
	17日	広報広聴委員会広報部会、議会研修会
	24日	市民教育厚生委員会
	29日	各派代表者会、議会運営委員会、総務委員会
【2月】	9日	全員協議会
	19日	各派代表者会、議会運営委員会
	20日	市民教育厚生委員会
	22日	まちづくり・活性化特別委員会、総務委員会
	23日	都市環境経済委員会
	26日	第5回定例会本会議〔開会、補正・新年度関係議案上程〕、政策等調整委員会、広報広聴委員会広報部会
【3月】	5日	第5回定例会本会議〔質疑質問〕
	6日	第5回定例会本会議〔質疑質問〕
	7日	第5回定例会本会議〔質疑質問〕
	8日	第5回定例会本会議〔質疑質問〕、予算特別委員会
	9日	総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
	13日	各派代表者会、議会運営委員会、第5回定例会本会議〔補正関係議案採決〕、予算特別委員会
	14日	予算特別委員会
	15日	予算特別委員会
	16日	予算特別委員会
	19日	予算特別委員会
	20日	予算特別委員会、請願等調整委員会、起草委員会
	22日	起草委員会
	23日	起草委員会
	26日	起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、第5回定例会本会議〔新年度関係議案採決、閉会〕、広報広聴委員会広報部会
	29日	総務委員会

行政視察受入（1月～3月）

月	日	都道府県	団体名	視察項目
1	16	愛媛県	新居浜市議会	議会改革の取り組み
	17	東京都	三鷹市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	18	鹿児島県	鹿児島市議会	大牟田市の空家等対策
	22	岡山県	総社市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	24	大分県	竹田市議会	議会改革の取り組み
	31	兵庫県	加古川市議会	議会改革の取り組み
2	2	東京都	調布市議会	持続可能な開発のための教育（ESD）
	6	兵庫県	豊岡市議会	重要港湾三池港を活用した地域振興
	8	大阪府	泉大津市議会	重要港湾三池港を活用した地域振興
	9	大阪府	高槻市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業、福祉収集
	14	福井県	大野市議会	大牟田市シティプロモーション戦略 “選ばれるまちおおむた”の実現に向けて
3			なし	

委員会メモ

大牟田市庁舎整備の検討

【総務委員会】

2月22日の委員会で、庁舎の改修・建て替えの整備手法、目標年度等の対応方針を平成30年度内に決定する旨の説明を受けました。

この方針は、これまでの調査や検討結果をもとに、市民アンケート調査や附属機関における検討及び提言等、専門家や市民意見を聞きながら決定される予定です。

子育て世代包括 支援センターの開設

【市民教育厚生委員会】

2月20日の委員会で、4月2日に同センター（愛称：はぐはぐOomuta）を開設し、妊産婦の個別の状況に応じた情報提供や助言、サービス利用の支援等を行う旨の説明を受けました。

これを受け、同センターの人員体制等について議論が交わされました。

動物園の整備事業

【都市環境経済委員会】

2月26日の委員会で、本市動物園に対し、駐車場不足、休憩室・トイレの改善などを求める意見から、計画的に整備する旨の説明を受けました。

30年度から集客増と来園者の満足度向上のため、駐車場、トイレ、絵本ギャラリー及び獣舎などの整備が計画的に行われる予定です。

まちづくり総合プランに 係る意見・要望への回答

【まちづくり・活性化特別委員会】

2月22日の委員会で、本特別委員会では合意形成を図った6件の意見・要望について、関係当局からそれぞれ回答内容の説明を受けました。

これを受け、各回答項目について、委員から質問や確認をするとともに、委員間討議を行いました。

議案等の審議結果

議 案 等 名		議 員 名		自由民主党議員団					公明党議員団				社民・民進・護憲 クラブ			日本共産党 議員団			無所属			賛 成 数	審 議 結 果				
				徳永春男	今泉裕人	境公司(議長)	田中正繁	中原誠悟	光田茂	森竜子	山口雅夫	大野哲也	今村智津子	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝			橋積和雄	北岡あや	高口講治	島野知洋
発議第26号	カジノリゾート整備法案の国会提出に反対するとともに、カジノリゾート推進法の廃止を求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	7	少数否決
発議第27号	生活保護基準引き下げの撤回を求める意見書案	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	7	少数否決
発議第28号	森友学園問題の徹底解明を求める意見書案	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×	×	19	多数可決
議案第81号	平成30年度大牟田市一般会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第82号	平成30年度大牟田市国民健康保険特別会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第83号	平成30年度大牟田市介護保険特別会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第84号	平成30年度大牟田市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第97号	大牟田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第98号	大牟田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第99号	大牟田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第100号	大牟田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
発議第29号	所有者不明の土地利用を求める意見書案	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第74号	大牟田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	21	多数可決

* 議案第81号～84号、97号～100号及び発議第26号～29号については、古庄和秀議員は病欠。
■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全会一致で賛成し可決、同意、異議なし。

（議案第85号～96号、101号～103号及び発議第30号～31号については、古庄和秀議員は病欠。）

議案第 68 号	平成29年度大牟田市一般会計補正予算
議案第 69 号	平成29年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案第 70 号	平成29年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第 71 号	平成29年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第 72 号	平成29年度大牟田市水道事業会計補正予算
議案第 73 号	平成29年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案第 75 号	大牟田市嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 76 号	大牟田市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 77 号	大牟田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第 78 号	おおむた100若者未来応援基金条例の制定について
議案第 79 号	大牟田市企業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 80 号	財産の処分の変更等について（みなと産業団地用地）
議案第 85 号	平成30年度大牟田市病院事業債管理特別会計予算
議案第 86 号	平成30年度大牟田市水道事業会計予算
議案第 87 号	平成30年度大牟田市公共下水道事業会計予算
議案第 88 号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（大牟田市庁舎整備検討委員会の設置）
議案第 89 号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（大牟田市バス交通対策協議会の廃止）
議案第 90 号	大牟田市地方独立行政法人大牟田市立病院評価委員会条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 91 号	大牟田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 92 号	大牟田市職員退職手当条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第 93 号	大牟田市国民健康保険積立基金条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 94 号	大牟田市廃棄物の埋立地取得及び処理工場建設積立基金条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 95 号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 96 号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第101号	大牟田市危険物の規制等に関する手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第102号	地方独立行政法人大牟田市立病院定款の一部変更について
議案第103号	地方独立行政法人大牟田市立病院第3期中期計画の認可について
議案第104号	大牟田市教育委員会教育長の任命について（安田昌則氏）
議案第105号	大牟田市教育委員会委員の任命について（笹井葉子氏）
議案第106号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（北原朋喜氏）
議案第107号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（山田芳久氏）
議案第108号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（日比生純二氏）
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について（安元洋子氏）
発議第 30 号	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書案
発議第 31 号	バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書案

代表質問

厳しい財政状況の中、市民が求める優先順位の見極めを



自由民主党議員団
森 電子 議員

場面も想定されるため、行財政改革もあわせて進めながら、厳しい財政状況の中でも自立した財政運営が可能となるよう努める。

厳しい財政状況の中 選ばれるまちとなるには

問 4カ年計画のまちづくり総合プランも2年経過し折り返し地点に来ているが、進捗状況に対する市長の所感は。

答 子どもを産み育てたいと思える環境づくり、教育の向上、産業の多様化と雇用の場の確保を3本柱として様々な取り組みを実施しており、プランに掲げる全施策の目標達成率は28年度実績で約90%。おおむね順調に進捗している。

問 様々な事業に取り組む一方で財政は非常に厳しい状況にある。今後、庁舎整備や学校再編、再開発事業など大きな財源を伴う事業もあり、どう優先順位をつけ、事業費の平準化を図っていくのか。

財政運営に対する考え方は。

答 非常に厳しい財政状況が続くものと想定され、市庁舎の耐震化問題など、非常に多額の費用が必要となる事業も複数想定される。公債費負担の増加等を考えると、事業規模の縮小や財政負担の平準化、行政サービスの縮小なども含め非常に厳しい判断が必要な

スクールソーシャル ワーカーの配置拡大を

問 子育て支援の拠点となる、子育て世代包括支援センターが開設され、切れ目のない支援とワンストップによる相談窓口の充実が期待される。

相談内容は深刻化、複雑化しており、スクールソーシャルワーカーの果たす役割も大きいと思うが、教育委員会と保健福祉部の連携によるさらなる配置拡大を望むが見解は。



答 御指摘のとおり関係機関との連携が非常に大切であり、専門職等を配置していく中で十分な連携が図られるか見極めていきたい。

市庁舎の整備は十分な 情報公開と意見集約を

問 庁舎整備における検討の進捗状況と、市民アンケートの内容や対象者について聞く。

答 昨年度実施した耐震診断と現状調査の結果を踏まえ、改修・建て替えなどの整備手法別のモデルケースを設定し、論点整理を行った。市民アンケート調査では、この論点を踏まえた設問となり、18歳以上の市民から世代を問わず2,000人を無作為に抽出し実施したい。また、附属機関による検討も願う。

再発言 アンケート調査の対象者は無作為ではなく、世代や性別なども加味した構成比率を考慮すべき。また、直接意見を聞く場や、市民・議会への情報公開と説明を求める。

新たなガイダンス施設 宮原坑に必要なのか

問 世界遺産としての価値を保全し、次世代に伝えていくことの重要性は理解するが、石炭産業科学館があるにもかかわらず約1億円をかけて新たにガイダンス施設を宮原坑に設置する必要があるのか。

答 石炭産業科学館は全体の説明であり、新たな施設は宮原坑の歴史や役割を説明するなど役割分担しながら、最低限の整備に努めていく。

小中一貫校の設置を 求める要望への対応

問 学校再編の見直しを行う中で、松原校区における小中一貫校の設置検討を求める地域からの要望をどう議論し、検討するのか。

答 適正規模・適正配置の検討委員会で検討される予定。

宴席始めの30分と宴席終了前の10分間は自席で料理を



公明党議員団
今村 智津子 議員

病児・病後児 保育の体制整備

問 本市の病後児保育は休止状態との報告を受けたが、子育て支援には病児・病後児保育の体制

整備が重要な事業と考える。今後の方針について聞きたい。

答 本市では、病後児保育事業の早期再開を目指し、医師会等へ相談も行いながら新たな委託先の確保に努めている。

また、病児保育事業は、小児科医の減少や医師の高齢化が進んでいる状況から、実施は大変厳しいと認識している。

再発言 病児保育事業の実施については、医療機関、医師会等と連携をとりながら積極的な検討を要望する。

市長の政治姿勢

問 未来への投資に向けた今後の取り組みや、新年度予算案などに関する市長の考えは。

答 子育て支援策の充実では、子ども医療費助成事業、保育所等の保育料の軽減、学童クラブの新設のほか、子育て世代包括支援センター（愛称：はぐはぐOomuta）を開設し、切れ目ない支援を行いたい。

教育の向上では、ユネスコスクール・ESDのまちおおむた宣言に掲げる持続可能なまちづくりを市全体で進め、児童生徒の学力向上及び英語の実践力の向上のため、学力ブラッシュアップ推進事業や英語教育ステップアップ事業などの取り組みを行いたい。

産業の多様化と雇用の場の確保では、企業誘致や地域医療の支援に加え、奨学金の返還を支援する事業（おおむた100若者未来応援事業）を実施することとしている。

厳しい財政状況ではあるが、将来の大牟田を担う人材育成など未来へ向けた投資を確実に進めたいと考えている。

食品ロス削減

問 生ごみの水切りもなかなか実行されていない状況の中、生ごみを含む燃えるごみの量と経費について聞きたい。

答 燃えるごみ、燃えないごみ、資源物などのごみ処理全体の処理経費は、28年度実績で20億7,000万円。そのうち燃えるごみの処理経費は、収集運搬経費とRDFセンターの中間処理経費を合わせて16億2,000万円となっている。

問 市民や事業者の協力また市役所内での連携により、コスト削減の効果が出ている先

進地の事例を参考に、身近なことから市民一丸となって取り組むべきと思うが。

答 ごみの減量は、市民の皆さんの理解と協力が不可欠であり、今後のごみ処理施設の建設にも影響があることから重要な課題と捉えている。

今後、食品ロス削減につながる取り組みを進めたい。

残さず食べよう30・10 （さんまる・いちまる）運動

問 30・10運動*を行政一丸で、関係機関と協力し、市内飲食店や市民へ積極的なアピールが必要と思うがどうか。

*乾杯後の30分間、お開き前の10分間は、料理を楽しみましょうという運動。

答 今後は、庁内関係部署や関係団体と連携を図り、市民や市内飲食店への情報発信やアピールを行い、30・10運動の普及・啓発に取り組みたい。また、庁内での周知徹底を図り、率先して取り組みたい。



教育現場における 外部人材の活用

問 昨年、外部人材が部活動を指導し、大会への引率もできる部活動指導員も制度化されたが、本市の今後の方針は。

答 国や県の動向を注視しながら、どのような活用が行えるかを検討していきたい。

代表質問

100周年事業の振り返りと学校再編計画の見直し

市長の政治姿勢
100周年を振り返って

問 昨年3月の市制施行100周年のセレモニーから多くの取り組みが行われたが、1年を振り返っての市長の総括は。

答 一部の事業が残っているが、今後も多くの事業に取り組まれた皆様と連携・協力し、まちづくりに取り組みたい。

問 今年もジャーフがゆるキャラグランプリにエントリーすると思うが、目標順位は。

答 昨年より上位が目標だが、三池初市では1位を目指すとかけ声をあげたところ。

教育の充実と教育予算

問 教育予算比率が5.6%と昨年より低いが市長の考えは。

答 学校再編整備や空調設置事業など、ハード整備の減少が主な要因だが、ソフト事業の充実など、将来のまちづくりを担う人材の育成のため、教育の充実を図っていききたい。

問 教育の充実を図るのであれば、教育予算を拡充して環境整備を図るべきと思われるが、市長の考えは。

市庁舎の整備手法の検討

問 市庁舎の改修・建て替えは今後50年を見据えた重要な事業だが、市長の決意は。

答 検討を前倒しで進める中、財源も含め難しい政策課題だが、市民の意見等を聞きながら早急に取り組むたい。

問 市民アンケートの意見聴取の方法や市民への説明は。

答 無作為抽出した2,000名の市民を対象に、課題ごとに設問したアンケートを実施予定。また、市民への説明会なども必要だと考えている。

再発言 財政負担を含めベストな方法に導くためにも、市民の意見を十分に聞かれない。

地域公共交通網形成計画

問 交通政策基本法の趣旨にある日常生活等に必要交通手段の確保に対する具体策は。

答 日常生活の通勤・通学の流動等は、市内外ともに多いため、これを支える公共交通体系の維持確保を図っていく。

問 動物園の渋滞緩和策としての路線バスの乗り入れを急

ぐべきだが、今後の対応は。

答 渋滞緩和策として、駐車場の整備などを進めながら、事業者と協議していききたい。

再発言 1日も早いバスの乗り入れの実現に努められたい。

市立学校適正規模・
適正配置計画の見直し

問 これまでの再編の総括と課題を聞きたい。

答 円滑な移行とともに、各校の特色などを引き継げたと考えているが、再編後のアンケートで通学方法の変更など課題となる意見もいただいているため、今後に生かしたい。

問 市内6中学校の現再編計画に対し、新たに2つの再編案が出てきたが、その経緯は。

答 検討委員会の橘中学校の現地調査や協議の中で、敷地面積や高低差等により活用しづらいことから、事務局に近接校の活用案が求められた。

問 33年度までに再編予定だが、時間的に厳しいのでは。

答 学校の小規模化が進んでいるため、33年度としたいが、成案化に当たっては考慮の必要があるものと考えている。

問 今後の地域やPTAなどへの説明はどうするのか。

答 答申後、保護者、学校関係者、及び地域に説明し、広報にその内容を掲載したい。



市民生活と福祉を充実させる新年度予算に



日本共産党議員団
橋積 和雄 議員

安倍政権のもとでの 憲法改正についての見解

問 安倍政権は年内にも憲法改正の発議をしようとしている。憲法 9 条があったから日本は戦後 70 年以上戦争をしなかったと考えるが、見解は。

答 9 条により平和な日本が形づくられたと思う。慎重な議論を踏まえ判断されるべき。

再発言 大牟田は先の戦争で多大な人命を失った。二度と戦争の惨禍を繰り返さないよう憲法 9 条の平和の精神をあらゆる場面で発信してほしい。

新年度予算（案）

問 市民生活と福祉を充実させる予算が必要だと思うが。

答 子育て支援、教育の向上、雇用の場の確保を中心に予算化した。



問 学童保育所等の待機児童解消の取り組みは。

答 吉野校区の第 2 学童クラブの開設などに取り組む。

問 就学援助の周知徹底や入学前支給の改善状況は。

答 29 年度から案内文と申請書を全校の保護者へ配付し、新年度前の 2 月支給とした。

再発言 必要な人が利用できる就学援助制度となるようさらなる周知徹底を要望する。

問 快適住マイル改修事業廃止の理由は。

答 建設業は景況が改善しており、29 年度で終了とした。

再発言 市民の住環境の改善、経済効果も非常に大きく、市民からも事業継続の要望が出ている。地域経済活性化のためにも継続を要望する。

生活保護行政

問 生活保護捕捉率の低さをどう見ているか。

答 生活保護に対する誤解や偏見がまだあると考える。

再発言 憲法の生存権が保障されるよう扶助費削減に反対し、必要な人が受給できるよう制度の周知徹底を求める。

国民健康保険制度

問 国保の県単位化によって財政基盤が弱いという構造的

問題が解決するのか。

答 国からの財政支援で財政基盤の強化が図られる。

問 高すぎる国保税が問題。今後の負担軽減の取り組みは。

答 全体的に医療費を少なくして全体的な税を減らし、安定化させていきたい。

再発言 子供の均等割り減免の検討、窓口の一部負担金などの減免制度の改善を求める。

立地適正化計画（案）

問 地域でも身近に買い物ができるための効果的な商業機能の配置が必要だと思うが。

答 同計画で商業施設や子育て施設、スーパーなど生活利便施設の維持を定めている。

再発言 コンパクトシティの推進は、身近な公共施設がなくなり、行政サービスが受けられないなど、周辺地域の切捨てを招く危険性がある。誰もが安心して暮らせるまちづくり計画となるよう要望する。

地域公共交通網 形成計画（案）

問 生活交通の確保に向けて小型バスなど個別具体的な輸送サービスの検討を求めたが、計画への反映は。

答 公共交通でカバーされていない交通空白地域の中でも、三池地区を優先的に今後検討していきたい。

再発言 全市的な対策、安全を第一にした住民の交通移動の権利を保障する計画となるよう要望する。

一般質問



自由民主党議員団
光田 茂 議員

企業誘致

問 エコタウンの分譲率が46%だが、企業誘致の取り組みについて考え方を聞きたい。

答 30年度から3年間、設備

投資の固定資産税の軽減措置を図る自治体に対する経産省の支援制度が国会で審議中。

この制度を導入し企業誘致に積極的に取り組みたい。

問 新大牟田駅南側の内陸型工業団地の検討状況は。

答 進出企業の業種等を盛り込んだ農村産業法に基づく実施計画を策定し、県の同意を得る必要がある。重要な拠点であり、地域資源を生かしてにぎわいの創出につなげたい。国・県と十分協議し、スピード感を持って鋭意取り組む。

スポーツによるまちづくり

問 旧勝立中や、市所有ではないが旧大牟田北高校の校舎・体育館・グラウンドを活用したスポーツ合宿所を整備してはどうか。

答 他都市における学校跡地を利用した合宿所の事例は承知している。先行事例を参考にスポーツによるまちづくり、地域活性化につながる具体的な取り組みを研究・検討していきたいと考えている。



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

平日夜間小児急診医療体制

問 毎週木曜日の市立病院における当番医対応など状況は。

答 大牟田医師会の協力のもと、昨年5月11日から開始し

た。小児科医の減少や高齢化の中で小児緊急体制をいかに保持するのが課題。

子供のインフルエンザ・ロタウイルス予防接種

問 予防接種の公費助成の実施についての考えを聞きたい。

答 本市では、子供を対象としたインフルエンザやロタウイルス等予防接種は、任意接種のため公費助成を行っていない。今後、国の予防接種全体の検討状況等を注視したい。

再発言 任意接種は保護者の

負担が大きく、予防接種の公費助成の実現を要望する。

婚活・結婚新生活支援

問 婚活・結婚新生活支援の取り組み等について聞きたい。

答 婚活支援は、本市独自事業で、おおむた縁結び支援事業などを実施している。結婚新生活支援は、引き続き他市の実績等の状況を注視したい。

再発言 結婚を機に新居となる住宅家賃補助や結婚新生活支援事業等の実施を要望する。



社民・民進・護憲クラブ
平嶋 慶二 議員

本市の人口減対策と展望

問 昨年から1年間で本市の人口は1,276人減少しており、緩やかな減少傾向にまで至っていないが、市長の所見は。

答 社会動態による人口減が10年前の1,000人から、近年、500から300人程度となるなど、改善の傾向も出ており、これまでの取り組みが奏功した部分もあると考えている。

ジャー坊の活用（普及）策

問 ジャー坊のミニチュア展示や増産など、認知度を高める機会をふやしてはどうか。

答 庁内やPRイベント等で展示中だが、グッズ作成は基本的に民間主導で考えている。

ジャー坊に愛着が湧くよう、認知度を高め、ミニチュアの製作・販売につなげたい。

佐賀県神埼市のヘリ墜落と本市の対応策

問 佐賀県のヘリ墜落事故のような航空機事故が本市で発生した場合のマニュアルは。

答 航空機事故等の大規模事故が発生した場合の対処を本市地域防災計画に定めている。

再発言 オスプレイ等に係る県の情報連絡会の情報の収集と提供にも努めてほしい。

一般質問



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

介護保険料値上げに歯どめを

問 保険料の値上げはサービスを受けられない人をふやす。値上げしない努力をしたのか。

答 30年度から、第1号被保

険者の保険料基準額を月額6,220円をお願いしたい。保険料を上げないために、まず市民の健康づくりが大切であり、しっかり取り組んでいく。

再発言 すでに市民生活に耐えられない額。値上げをしないあらゆる努力を求める。

実態にあった重度化予防を

問 重度化予防の介護予防・日常生活支援総合事業は、要支援1・2の方の通所・訪問介護を保険給付から切り離し、

介護の専門性を薄めた。市は、研修を受けたボランティアで対応するというが、実態は。

答 人材育成の点は遅れているので、社会資源の発掘を含めてこれからも取り組んでいきたい。

再発言 どの自治体もうまくいっていないと思う。介護の人手不足もあり、基準緩和型で7割の報酬では経営が困難。また、お金があるかないかで選択せざるを得ない総合事業の実情。1人1人の利用者に寄り添った運用を求める。



自由民主党議員団
中原 誠悟 議員

重要港湾三池港

問 三池港の整備状況と利活用促進による効果は。

答 国の航路護岸工事は32年度末、県のコンテナヤード拡

張整備は30年度末に完了予定。

三池港は県南地域の重要な産業物流の拠点港。利活用の促進は地域経済に大きく寄与するものと考えている。

旧船津中学校跡地の暫定利用

問 現在の活用状況は。

答 三川地区公民館の臨時駐車場、避難所の物資の一時保管場や地域行事の準備作業などに暫定的に使用されている。

問 活用方法が決定するまでの間、体育館などの使用につ

いての考え方は。

答 地元まちづくり団体などの営利を目的としない団体が行う非営利活動に限り、一時的に使用できることとしたい。

動物病院の休日急患対応

問 動物病院の休日急患体制と広報紙等での周知は。

答 休日当番医の制度はないが、診療日等の情報提供について関係団体と協議したい。

再発言 連休の場合が特に課題。効果的な周知の検討を。



公明党議員団
三宅 智加子 議員

学童保育所・クラブの拡充

問 新年度に発生する待機児童の現状と対策を聞きたい。

答 平成30年度に様々な対策を講じるが、一定の待機児童

が発生する見込みである。

指定管理者等と定員を超えた弾力的な受け入れ協議も行い、待機児童の解消に取り組んでいく。

再発言 利用時間延長等の大きな課題となっている支援員の確保については、市としても支援員の登録制度の創設など、長期的な視点で人材確保の支援に努めてほしい。

大牟田市動物園の整備事業（絵本ギャラリー）

問 平成30年度に実施予定の

絵本ギャラリーの基本設計は、どのような観点で行われるのか聞きたい。

答 基本設計には、類似施設等を参考にしながら、市議会や、内田麟太郎さんをはじめ、商工会議所やともだちや絵本ギャラリーに携わった読み聞かせボランティアの方々など、関係者の意見を広く反映していきたい。

再発言 本市は多くの漫画家などを輩出しており、その方々の作品展示会・企画展の実施も取り組んでほしい。

一般質問



無所属
塚本 三作 議員

新年度予算案とまちづくり

問 新年度予算案の特色は。

答 安心して子供を産み育てたいと思えるような環境づくり、教育の向上及び産業の多

様化と雇用の場の確保を中心とした様々な取り組みを充実させていきたい。

また、中心市街地の活性化、動物園の魅力向上などにも取り組むこととしている。

問 自立した財政運営の確立とはどういうイメージか。

答 市税を中心とした自主財源を安定的に確保することで、国からの地方交付税や国庫補助金などに過度に頼らなくても将来的なまちづくりに向けた投資が行えるような状態などを考えている。



無所属
島野 知洋 議員

ふるさとのシンボルである三池山の活用

問 三池山における子供の自然体験の現状と今後の活用は。

答 三池山は自然豊かな環境がある学習対象の一つである。

歓迎やお別れの遠足や小学校の生活科における学習などに使われている。

自然環境に対する理解と郷土の自然を守る主体的な取り組みができるよう、郷土の自然に詳しいゲストティーチャーなどを活用し、三池山をはじめ本市の豊かな自然を生かした体験活動の充実に努めていく。

再発言 市民活動団体は担い手不足に苦慮しており、ボランティア募集の情報提供やマッチングなども工夫した支援



無所属
森 遵 議員

介護予防・日常生活支援総合事業

問 本市の制度は、国の方向性にも合い、よく練られていると思うが、利用者の方と事業所のマッチングができてい

るケースなどは、利用者の状況に合った選択を認める柔軟性を持たせるべきだと思うが、どうか。

答 事業者、ケアマネジャーの意見等も聞いた中で、今後の事業の参考としたい。

問 場所を地域交流施設に限定することで、事業者の選別を自動的にやることにつながるとも思うが、この点はどうか。

答 市としては、限定しているわけではないが、その点も踏まえて、今後の事業運営の

高齢者虐待の通報、相談等の現状

問 法的根拠に基づく行政としての対応とその限界は。

答 高齢者虐待防止法に規定されている市町村の責務と役割に基づき高齢者本人だけでなく、養護者への支援も行っている。

その際、解決を図ることが非常に困難な場合もあるが、人権に配慮しながら関係機関等と連携して、高齢者虐待防止に努める。

を図ってほしい。

学校再編整備推進事業

問 市立学校適正規模・適正配置計画の中間見直しにおける適正規模などの基準や考え方の見直しは。

答 学校規模は、国で標準的な規模を定めているが、教育上の課題などを捉えながら弾力的な運用の必要性も示されており、本市における学校規模の考え方について、検討委員会で議論が進められている。

参考としたい。

学童保育

問 多子世帯の軽減措置を導入してはどうか。

答 近隣市の状況、受益者負担のあり方、財政状況等を総合的に検討し、判断したい。

問 預かり時間の延長については、まずは、平日だけでも延長を検討してはどうか。

答 これから指定管理者等と協議する中で、平日のみの場合も含め、検討したい。

『大牟田市庁舎整備手法』について 全員協議会を開催

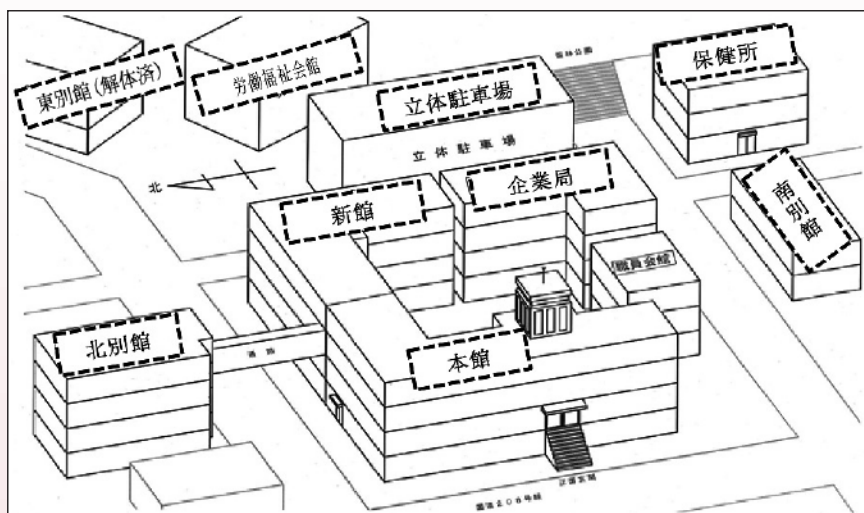
平成30年2月9日に開催された全員協議会の中で、当局から大牟田市庁舎整備に関するシミュレーションの結果報告がありました。

大牟田市では平成31年度に実施を予定していた耐震調査を前倒しして平成28年度に耐震診断を実施したところ、建設後80年が経過した本館を初め複数の庁舎で震度6強の地震が発生した場合に倒壊又は崩壊する危険性があることが明らかになりました。

また、同年度の現況調査では、庁舎の耐久性に関する課題や増築を重ねたことによる利便性の低下などの課題もわかり、今後の対応方針を検討するに当たり検討の基礎となる各種条件を設定し、整備手法別のモデルケース（右図の4案）によるシミュレーションが行われました。

このモデルケースは、耐用年数が改修の場合で20年、建て替えの場合で75年、さらに概算建設費用は約41億から約90億と幅がありますが、あくまで今後の議論を深めるためのものであり、この中から必ず選ぶものではありません。

庁舎等概観



モデルケース（4案）

A案：各庁舎を改修。本館は免震改修。新館や延命庁舎は耐震改修。

B案：本館を免震改修。企業局と新館を解体し、そこへ新館を新設。

C案：本館と新館、駐車場を解体。現在の場所に建て替え。

D案：労働福祉会館を解体し、笹林公園に新庁舎を建設。現在の庁舎跡地は代替公園。

※この4案から必ず選ぶものではありません。

今後のスケジュールとして、今回のシミュレーション結果を参考に専門家や市民の意見（市民アンケート調査等）を聞きながら論点を整理し、平成30年度中に改修か建て替えかの方針が決定予定です。

今回の全員協議会だけではなく、平成29年度の市議会定例会や決算特別委員会、予算特別委員会においても庁舎整備に関する議論が交わされてきましたが、30年度中に示される方向性に市民意見が反映されるよう取り組むとともに、議会でもさらに議論を深めていきたいと考えています。

インフォメーション

■次の定例会は6月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（平成25年度以降）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。

6月上旬から閲覧できます。ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。

おおむた自慢

大牟田の春は ここから

九州最大級の春の市「三池初市」には長い歴史と地域のふれあいがある



三池初市は300年の歴史を持つと言われています。
時代が移り内容が変わってきても、何よりも子供たちは三池初市を楽しみにしています。
今回はジャー坊のバースデーセレモニーも行われ、新たな賑わいを見せてくれました。

竹細工や刃物など
伝統的工芸品から綿菓子まで

三池初市は近郊の住民の物々交換から始まり、交流の輪が次第に広がり、この地域の人々の生活の中に溶け込み、生活物資調達と交流の場として定着してきたようです。花てぼや竹のざるに代表される竹製品や鍬や包丁などの刃物は、昔の生活必需品の市であった名残を残すものです。

2001年からは地元の学校の子供たちが発表の場として参加するようになり、イベントも充実してきました。それを機に、「三池初市301」として開催し、今回は「三池初市318」を迎えています。三池初市実行委員会では、この祭りを地域の祭りに留めることなく、まちづくりや人づくりの一環として地域に貢献する存在として継続していこうと、奮闘されています。

「初市風に当たれば風邪をひかない」という言い伝えもあります。

どうぞ次回の春も、ここから感じてください。

歴史を支えるボランティア

地域の組織を総動員した三池初市実行委員会の皆さんにより、祭りは支えられています。また、地元高校生のボランティアも定着してきました。

本番までの長い準備期間と夜間の後片付けを終えた翌朝には、もとの静かな三池のまちに戻ります。



編集後記

市議会だよりも204号を発行するに至りました。これまで議会だよりを続けられましたことを皆様に深く感謝し、今後もより楽しく親しみやすい紙面となるよう努めてまいります。三池炭鉱を初めとした関連遺産、周辺整備の課題も山積しております。今後とも市議会へのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。(1)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】古庄和秀

【委員】今泉裕人 山口雅夫 塩塚敏郎 松尾哲也 島野知洋

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail : e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社野口印刷所